

平成30年度 教育部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(教育部関係分)

政策 06 子育て・教育	政策展開の方向性						
	<p>子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。</p>						
	平成30年度の取組状況報告						
	06-02 子どもの教育の充実						
	<p>・確かな学力の定着のため、引き続き全小中学校への学習サポート教員の派遣や小学校全学年で外国語教育に取り組んだほか、デジタル教科書の整備や小学校の教育用パソコンをデスクトップ型からタブレット型に更新するなど、ICT教育環境の充実等に取り組みました。また、障がいのある子どもに対する環境整備として、身辺の介助や学習支援等の補助を行う特別支援教育支援員を学校に配置したほか、施設改修を実施しました。</p> <p>・医療的ケアを必要とする児童生徒が、安全に通学できるよう学校に看護師を配置するとともに、ガイドライン及び要綱を策定する等、受入れ体制の整備を行いました。</p> <p>・心身ともに健康な子どもたちの育成のため、大学との連携により、体力向上プログラムや出前授業、走り方教室を実施したほか、教職員研修などを通じて、学校での体力向上の支援に取り組みました。</p> <p>・開かれた学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援地域本部事業の取組として、引き続き学校支援ボランティアの全市的な派遣を実施したほか、全小中学校に導入している「えべつ型コミュニティ・スクール」により、家庭や地域の積極的な教育活動への参画を促しました。</p> <p>・安全で安心な教育環境を確保し、学校施設設備の整備・充実を図るため、小中学校4校の暖房改修工事を実施したほか、老朽化した施設設備の更新等を計画的に実施しました。</p> <p>・様々な悩みや問題を抱える子どもや保護者への支援の充実を図るため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等による相談業務及び不登校児童生徒を対象とした「すぼっとケア事業」を引き続き実施しました。</p> <p>・ネットトラブルや健康被害から子どもたちを守ることを目的に、スマホ・ネット等の利用に関するルール「えべつスマート4RULES」の普及啓発のためのクリアファイルを児童生徒へ配布したほか、市内全中学校で外部講師による情報モラル講演会を開催しました。</p> <p>・次代を担う青少年の健全育成を地域社会が連携して推進できるよう、地域自治会などとの連携により、体験活動の事業を実施したほか、育成団体等に対する補助金交付や各種会議を通じた連携強化の取組を実施しました。</p>						
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H28年度	H29年度	H30年度	目標
	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	45.7	45.6	50.0	↗
	教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	89.8	90.6	88.5	↗
	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	77.6	77.9	80.7	77.0	↗
	教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「学校教育基本計画」学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合	%	88.7	96.9	94.8	89.2	↗

政策 07 生涯学習・文化	政策展開の方向性						
	市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。						
	平成30年度を取組状況報告						
	07-01 生涯学習の充実						
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設が、市民の交流や学習活動の拠点として活発に利用されるための必要な環境整備として、修繕計画に基づき、中央公民館の屋上防水改修、情報図書館の空調設備改修を実施しました。 ・生涯学習活動を行う団体が自立し、地域で自主的な活動を展開していけるよう、公民館使用料の減免等、活動団体の安定的な運営への支援を実施しました。 ・市民の社会参画に向けた多様な知識を得る機会を提供するため、PRを工夫しながら市内4大学等と連携した「えべつ市民カレッジ」を開催し、受講履歴を記録できる市民カレッジ手帳を引き続き希望者に発行するなど、参加意欲を向上させる取組を実施しました。 						
	07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造						
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や発表の場を提供するため、まちかどコンサートの開催や市民ミュージカル体験会の実施等、活動団体の安定的な運営への支援を行いました。 ・市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会や創作活動を発表する場として、企画展示会や市民参加型の展示会を実施したほか、地域文化のひとつである「陶芸文化」を普及振興するため各種講座を開講し、生涯学習の推進とふるさと意識の醸成に努めました。 ・文化財や歴史遺産を調査・保存し、後の世代に正しく継承していくため、体験型事業等を通じて市民のふるさと学習を支援するとともに、展示施設や文化財の保全に努めました。 						
	07-03 市民スポーツ活動の充実						
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適なスポーツ施設などは、充実した活動のために不可欠なものであることから、適切に環境を整える必要があります。そのため、平成30年度は、青年センターのプール水槽改修工事を行ったほか、市民体育館の弓道場拡張工事など、施設の修繕等の環境整備に努めました。 ・スポーツ・レクリエーションについては、学校開放事業など幅広い年齢層に対応する活動機会を提供したほか、軽スポーツの普及促進事業、各種スポーツ教室の実施、体育協会をはじめとする活動団体の支援を引き続き実施するなど、地域や関係団体との連携によるスポーツ活動団体の活性化に努めました。 ・体育施設管理団体と連携して、利用者アンケート等により市民ニーズを的確に把握し、体育施設の利便性向上や利用促進に取り組みしました。 ・社会体育施設の在り方については、第6期江別市スポーツ推進計画を策定する中で、スポーツ推進審議会や体育協会、各競技団体から意見聴取し、計画期間である5年間で具体的な方針を決定することとしました。 ・世界規模のスポーツ大会等の国内開催を契機に、スポーツ合宿誘致や障がい者スポーツ体験イベント等の開催支援などに取り組み、合宿参加選手との交流や実技体験などの機会を通して、市内のスポーツ振興に取り組みしました。 						
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H28年度	H29年度	H30年度
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合		%	33.2	24.4	28.1	29.4	↗
文化・芸術活動に参加している市民割合		%	18.3	11.8	16.5	16.9	↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合		%	40.2	40.0	39.8	40.6	↗
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「社会教育総合計画」 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合		%	72.0	60.2	63.1	60.4	↗
「社会教育総合計画」 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合		%	45.1	35.5	36.3	34.9	↗
「スポーツ推進計画」 スポーツ機会が充足していると思う市民割合		%	76.5	61.6	66.3	62.6	↗

2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	■1B 大学が活躍するまちづくり 「えべつ市民カレッジ(四大学等連携生涯学習講座)事業」 (生涯学習課)
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3A 社会全体で子どもを産み育てるまちづくり 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「児童生徒体力向上事業」(学校教育課) 「小中学校外国語教育支援事業」(学校教育課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 教育部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	5,011,515	5,248,470	4,332,647	2,451,252	2,267,882
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	5,011,515	5,248,470	4,332,647	2,451,252	2,267,882
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	104	103	99	98	101
	平均単価 (b)	7,853	7,764	7,670	7,618	7,627
	人件費 (a×b)	816,712	799,692	759,330	746,564	770,327
総 額		5,828,227	6,048,162	5,091,977	3,197,816	3,038,209